

財政状況をもっとわかりやすく！

くまとりの財政

～令和2年度決算～



総合政策部 財政課

も く じ

①「財政」ってなに？	1
②決算の概要	2
③歳入（収入）は？	3
④歳出（支出）は？【目的別】	4
⑤歳出（支出）は？【性質別①】	5
歳出（支出）は？【性質別②】	6
⑥令和2年度に実施した事業	7
⑦借金（町債）は？	8
借金（町債）って必要なの？	9
⑧貯金（基金）は？	10
⑨他団体との比較【歳入】	11
他団体との比較【歳出】	12
他団体との比較【地方債・基金】	13
⑩財政状況は大丈夫？	14
⑪第3次行財政構造改革プラン【目標・実績】	15
⑫公共施設等の老朽化対策	17
⑬これからどうなっていくだろう？【収支見通し①】	18
これからどうなっていくだろう？【収支見通し②（課題）】	19
⑭課題と取り組み（まとめ）	20



①「財政」ってなに？

「**財政**」とは、わかりやすく言うと「**お金のやりくり（収支）**」のことです。

各家庭では、お給料をどのようにやりくりするかを考えていると思いますが、町でも皆さまに納めていただく税金などをどう使っていくか、必要性や優先順位を考えながらやりくりをしています。

行政では、この「お金のやりくり（収支）」を、原則、年度ごとにおこなっています。

① 予算

1年間の収入と支出を見積もる「**お金のやりくり（収支）**」の**計画**です。

② 執行

予算を**執行**する。（行政サービスの提供）

③ 決算

お金がどのくらい集まり、どのように使われたかの**結果**です。

この流れを「**財政**」っていうんだね。



②決算の概要

令和2年度の決算は、

歳入（収入）は、203億9,140万8千円（対前年比 55億9,635万1千円）

歳出（支出）は、196億4,987万1千円です。（対前年比 51億9,684万2千円）

形式収支（歳入－歳出）は7億4,153万7千円となり、翌年度に繰り越す事業（令和2年度中に完了しなかった事業）に使うための財源6億9,074万1千円を差し引いた「**実質収支**」が5,079万6千円の黒字となっています。

※**財政調整基金**から1億3,600万円、**公共施設整備基金**から1億2,700万円、**くまとりふるさと応援基金**から2億3,000万円を繰り入れています。



「実質収支」ってなに？



その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標です。

実質収支の黒字額は翌年度の歳入として繰り越され、事業の実施や財政調整基金の積立などにあてられます。

※**基金（貯金）**については10ページで説明します。

Point

歳入面

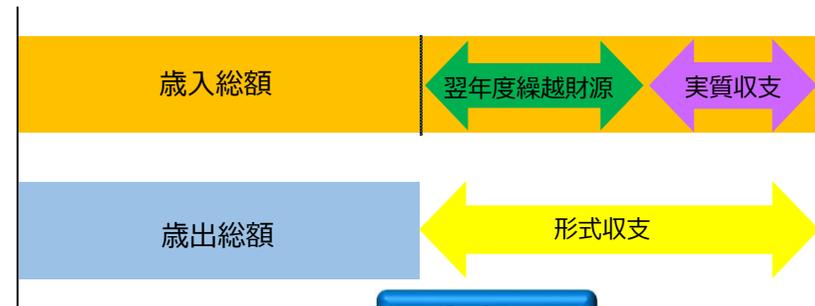
【増加要因】

- 新型コロナウイルス対策関連などの国庫支出金の増加
- 地方消費税交付金、地方交付税が増加

【減少要因】

- ふるさと応援基金繰入金が減少
（令和元年度防災基金の創設にあたり、10億円を繰り入れたため）
- 幼児教育・保育無償化の平年度化による保育料が減少

● 実質収支のイメージ（収支が黒字の場合）



歳出面

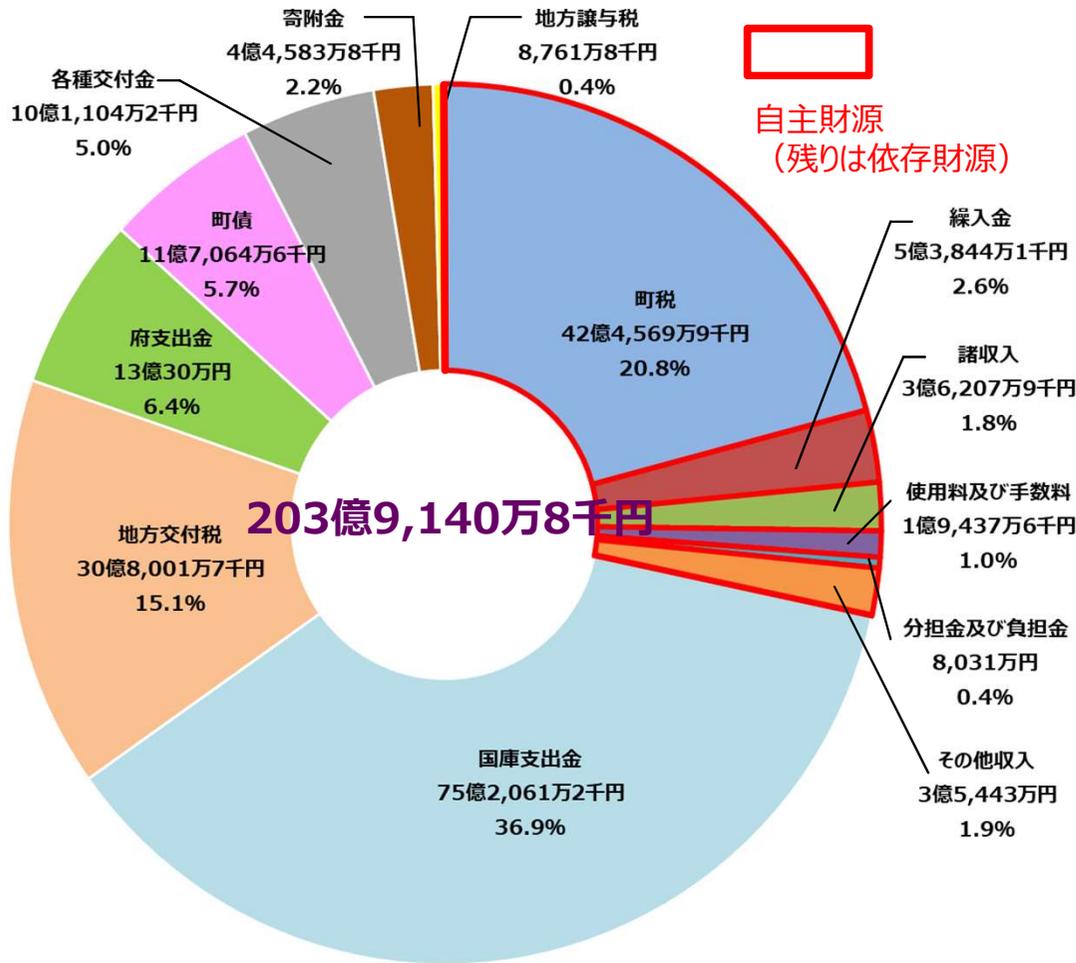
【増加要因】

- 特別定額給付金事業の実施などにより総務費が増加
- GIGAスクール構想の実現に向けた端末整備や町立小・中学校トイレ洋式化改修工事の増などによる教育費の増加

【減少要因】

- 防災基金積立金が減少
- 公債費、災害復旧費が減少

③歳入（収入）は？



令和2年度の歳入総額は203億9,140万8千円となり、前年度（147億9,505万7千円）と比べて55億9,635万1千円増加しました。
 ⇒新型コロナウイルス対策関連などの国庫支出金が増加したことが主な要因です。

歳入には、町税をはじめ、国や大阪府からの補助金、地方交付税、ふるさと納税による寄附金などがあります。

町に入るお金は大きく分けて「**自主財源**」と「**依存財源**」があり、「自主財源」が多いほど、自主的で安定性のある行政活動が可能になります。

町の自主財源は全体の約3割程度となっており、自主財源のさらなる確保に向けた取り組みをすすめる必要があります。⚠ **課題**

【自主財源・依存財源】

- 自主財源：町が自主的に集めることができるお金
- 依存財源：国や大阪府からのお金など、町が自主的に集めることができないお金

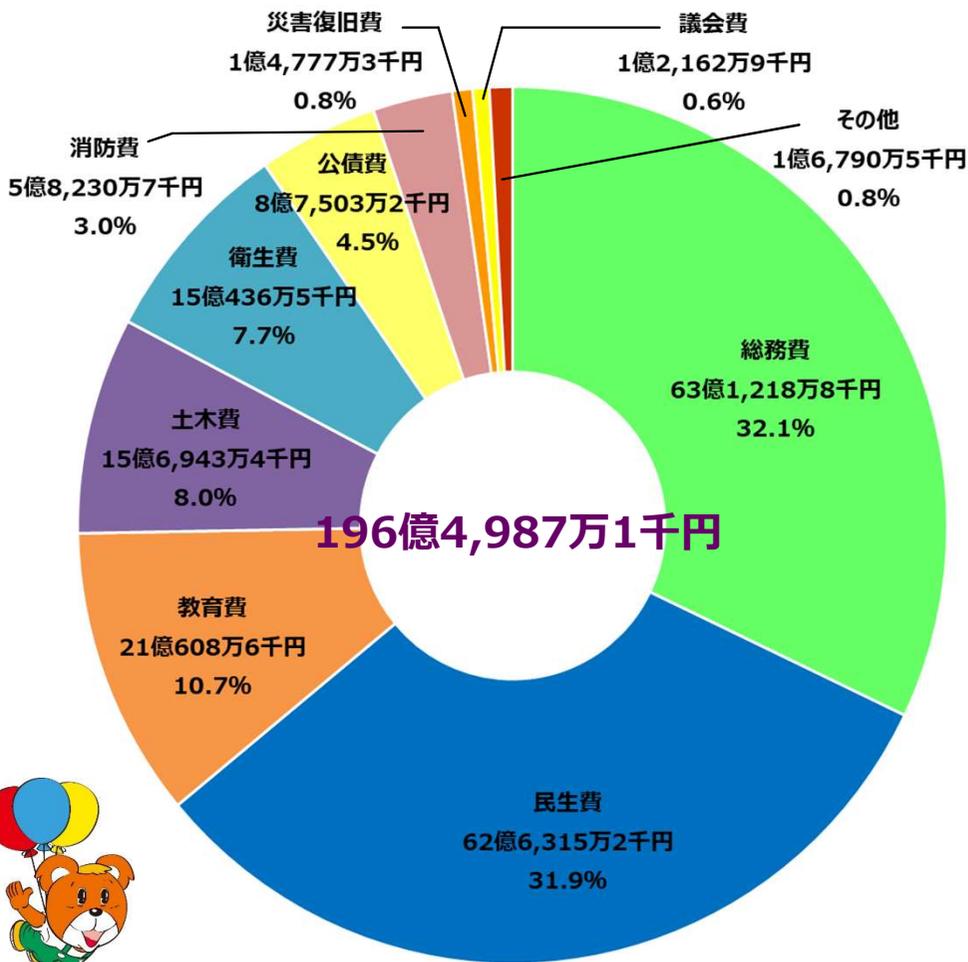
【地方交付税】

- 地方自治体間の税収格差を調整するために、国から配分されるお金



※構成比は単純四捨五入であるため、合計が100%になっていません。

④歳出（支出）は？【目的別】



◎歳出「目的別」とは予算をどんな目的で使ったかということだよ。



令和2年度の歳出総額は196億4,987万1千円となり、前年度（144億5,302万9千円）と比べて51億9,684万2千円増加しました。

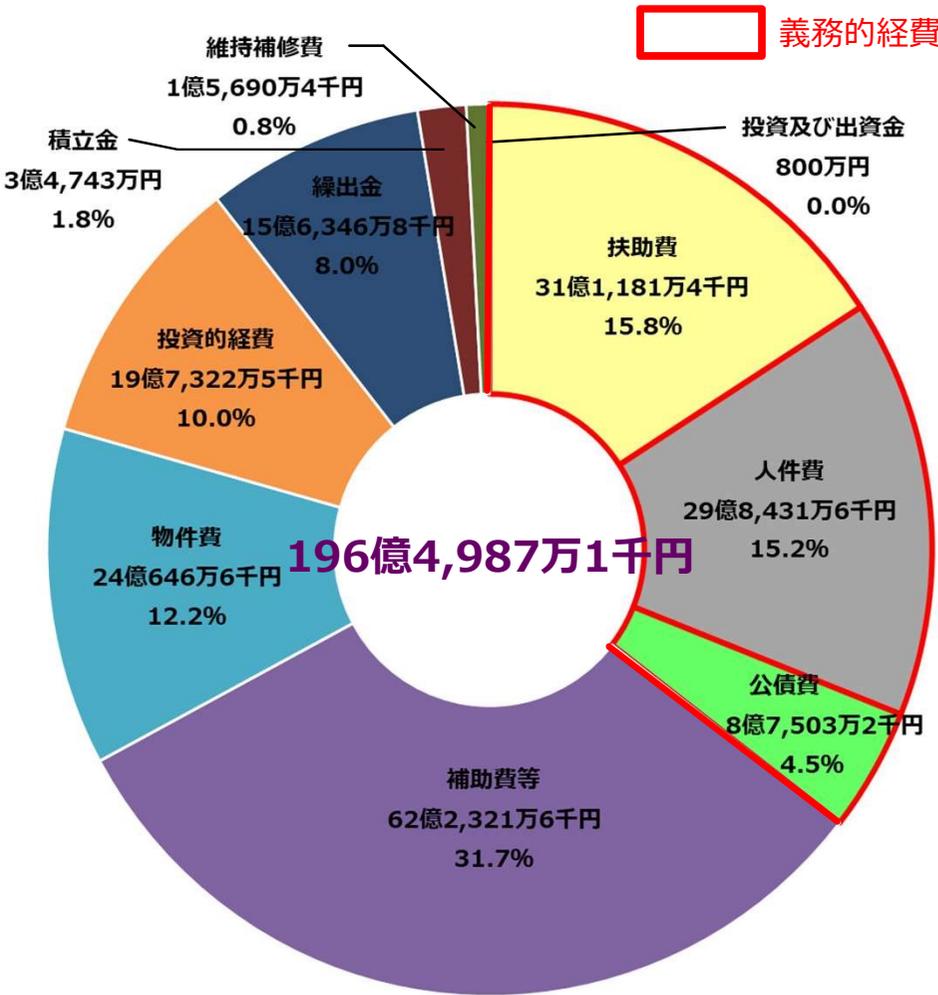
- 「総務費」：戸籍関係業務、税務関係、自治振興などのために特別定額給付金事業の実施などにより、前年度と比べて約46億5,900万円増加しました。
- 「民生費」：高齢者や障がいを持つ方、保育などのために子どもや高齢者や障がい者などの福祉サービスが全体の3割を占めています。高齢化による社会保障関連経費の伸びなどにより今後も増えていくことが想定されます。（前年度と比べて約5億2,400万円増加）
- 「教育費」：学校教育や文化、スポーツ振興などのためにGIGAスクール構想の実現に向けた端末整備や町立小・中学校トイレ洋式化改修工事などにより、約6億2,500万円増加しました。
- 「土木費」：道路や公園などの建設・管理などのために熊取駅西整備事業などにより約4億200万円増加しました。

- 「衛生費」：町民の健康を守ること、ごみの処理などのために
- 「公債費」：各施設建設時などに借入れた町債の返済のために
- 「消防費」：消防や防災などの災害対策のために
- 「災害復旧費」：災害復旧にかかる工事などのために
- 「議会費」：議会運営などのために
- 「その他」：農商工業振興などのために



※構成比は単純四捨五入であるため、合計が100%になっていません。

⑤歳出（支出）は？【性質別①】



歳出「性質別」とはどんな性質の予算をどれくらい使ったかということだよ。



用語の解説

扶助費	児童・高齢者・障がい者などに対しておこなう支援に要する経費
人件費	職員の給与など
公債費	資金調達のために借り入れた町債を返済する経費
補助費等	各種団体等に対する助成金や負担金など
積立金	財政運営を計画的におこなうため、備えとして積立てる経費
物件費	人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の、地方公共団体が支出する消費的性質をもつ経費の総称
繰出金	一般会計と特別会計などの会計間で支出される経費
投資的経費	道路、学校、庁舎など施設の整備、建設など施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費
維持補修費	公共用施設等を補修するなど、その効用を維持するための経費
投資及び出資金	(熊取町では) 水道事業への出資にかかる経費

義務的経費

支出が義務付けられている経費です。⇒人件費、扶助費、公債費がこれにあたります。

歳出（支出）は？【性質別②】

令和2年度の歳出総額は、昨年と比べて約52億円増加したんだよね！？なんでなんだろう？



主な増減要因

【扶助費】

- 幼稚園・保育所の無償化などの影響により8,600万円増加

【公債費】

- 償還終了や据置期間の設定により約7,600万円減少

【人件費】

- 会計年度職員制度の導入などにより4億5,600万円増加

【補助費等】

- 特別定額給付金事業の実施などにより47億6,000万円増加

【投資的経費】

- 紺屋あいぞめ橋修繕、泉佐野市田尻町清掃施設組合負担金、GIGAスクール構想におけるネットワーク整備などにより5億8,400万円増加

【積立金】

- くまとり防災基金積立金の減少により約8億2,300万円減少

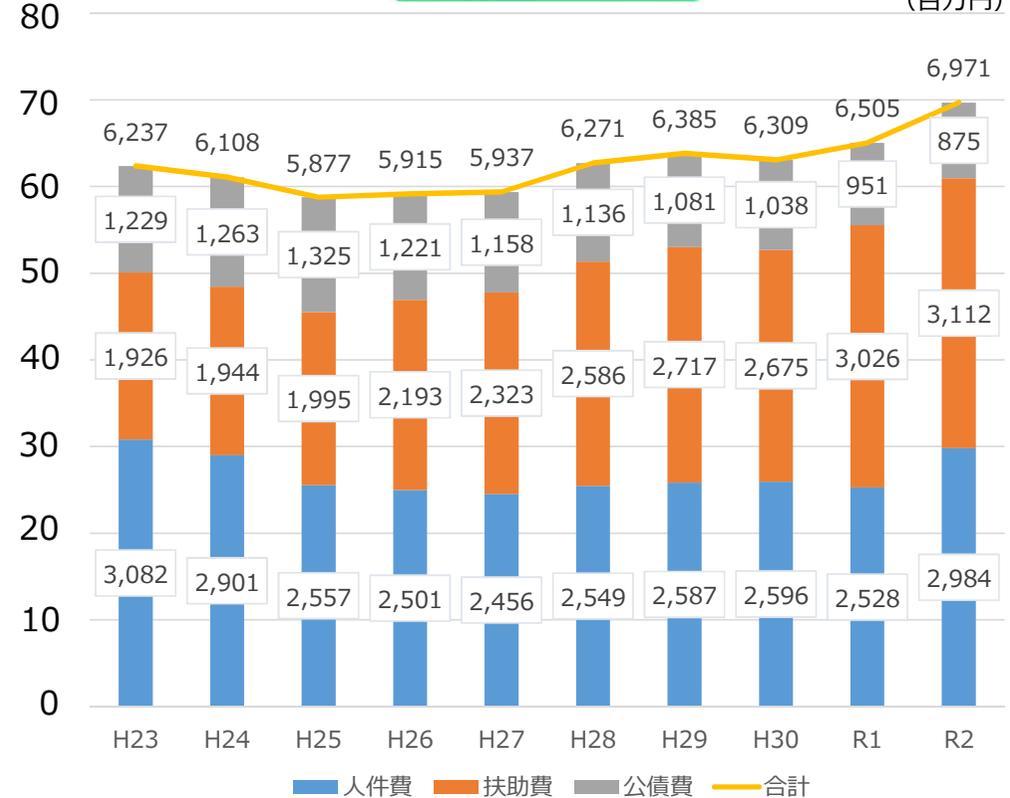
POINT

少子高齢化に伴い高齢者、障がい者に対する扶助費が増加していることに加え、子育て支援に係る経費（保育所や子ども医療費助成など）も増加しています。さらに、公共施設の老朽化や耐震化の対策が必要になってきますが、これらの経費は今後さらに増加していくことも想定され、厳しい財政運営が続きます。

(億円)

義務的経費の推移

(百万円)



10年前と比べ、人件費は下がりましたが、扶助費が大きく増加しています。義務的経費が増えてくると自由に使えるお金が少なくなってしまいます。

⑥令和2年度に実施した事業

令和2年度に整備した施設などの写真だよ！このほかにも、たくさんの投資的事業（建設事業）を実施したよ！

（金額は、令和2年度決算額であるため総事業費と異なる場合があります。）



公園遊具更新工事 6,400万円

長池オアシス公園の遊具更新を行いました。



紺屋あいぞめ橋修繕工事 2億1,800万円

紺屋あいぞめ橋の修繕工事が令和2年度に完了しました。



小・中学校学習用端末機器整備
2億8,900万円

GIGAスクール構想の実現に向けて
小・中学校に1人1台の端末を整備しました。

平成30年度の台風21号により被害を受けた普通河川雨山川の復旧工事が完了しました。



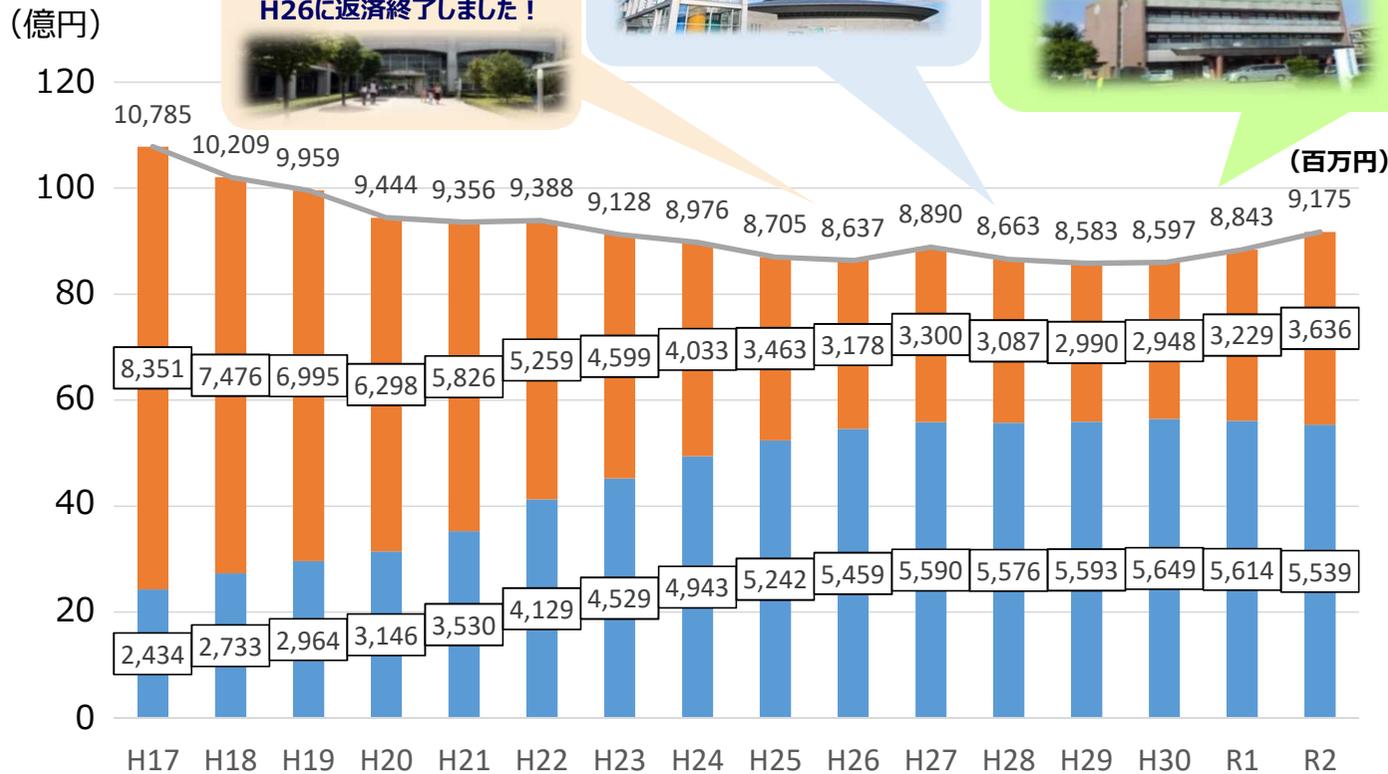
普通河川雨山川復旧工事 1億4,800万円

【その他令和2年度に実施した事業】💡

- さくらこども園施設整備補助金 【1億9,700万円】
- 泉佐野市田尻町清掃施設組合負担金 【1億7,700万円】
- GIGAスクール構想におけるネットワーク環境整備 【9,600万円】
- 町立小学校トイレ洋式化改修工事 【9,100万円】
- 環境センター設備整備（押込送風機整備等） 【6,300万円】

⑦借金（町債）は？

町債残高【一般会計】



図書館建設による町債は
H26に返済終了しました！



ひまわりドーム建設による町債は
H28に返済終了しました！



ふれあいセンター建設による町債は
R1に返済終了しました！



POINT

一般会計における熊取町の町債残高（借金）は、令和2年度末時点で約92億円あります。

臨時財政対策債（臨財債）以外の町債は、主に公共施設の建設のために発行したもので、過去に図書館やひまわりドーム、ふれあいセンターなどの建設で発行した町債の返済（償還）が進んでいることから、減少傾向にありましたが、令和2年度については投資的事業の増加などにより約3億円増加しました。

一方で、**臨時財政対策債の残高**は、全体の**約6割**を占めています。

用語の解説



臨時財政対策債（臨財債）

国が地方交付税を交付するにあたり、財源が不足した場合に、その代わりとして地方自治体に地方債を発行（借入）させる制度です。

臨時財政対策債の返済に必要なお金は、後年度に国から全額地方交付税で措置されますので、地方交付税の代わりとなるお金といえます。

臨時財政対策債以外の町債は、公共施設（道路、庁舎等）の建設などに使われているよ。

■ 臨時財政対策債 ■ その他 — 町債残高(合計)



借金（町債）って必要なの？

- ☑ 施設の多くは**長期間にわたって何世代もの人**が利用します。例えば、図書館を建設すると少なくともこの先20年は利用されます。このことは、図書館を建設した効果が20年間持続しているとも言えます。
- ☑ もし、地方債（町債）を活用しなかったら、建設した年度の住民が納めた税金だけで建設費用をまかなうこととなり、**その年度の住民の負担**が大きくなります。また、10年後や20年後の住民は、図書館を利用するだけで全く負担しないことになるので、**世代間で不公平**が生じます。
- ☑ さらに、図書館の建設には**多額の費用**がかかります。しかし、税金など地方債以外の収入は、その年度に建設があるからといって増えるわけではないので、**収入と支出のバランス**がとれなくなってしまいますし、限られた収入の中では、他の事業を圧迫する恐れがあります。
- ☑ そこで、**地方債（町債）**を活用すると、借り入れた資金を長期間にわたって返済することができるため、結果的に建設費用を**各世代で分担**することになります。建設した年度の住民だけでなく、この先、図書館を利用する住民も、**返済する = 建設費用を負担**することになり、利用と負担のバランスをとることができます。

負担が**大きい**



長期間にわたって**返済 = 各世代で分担**



赤字をうめるためではないんだね
住宅ローンのようなものかな！？

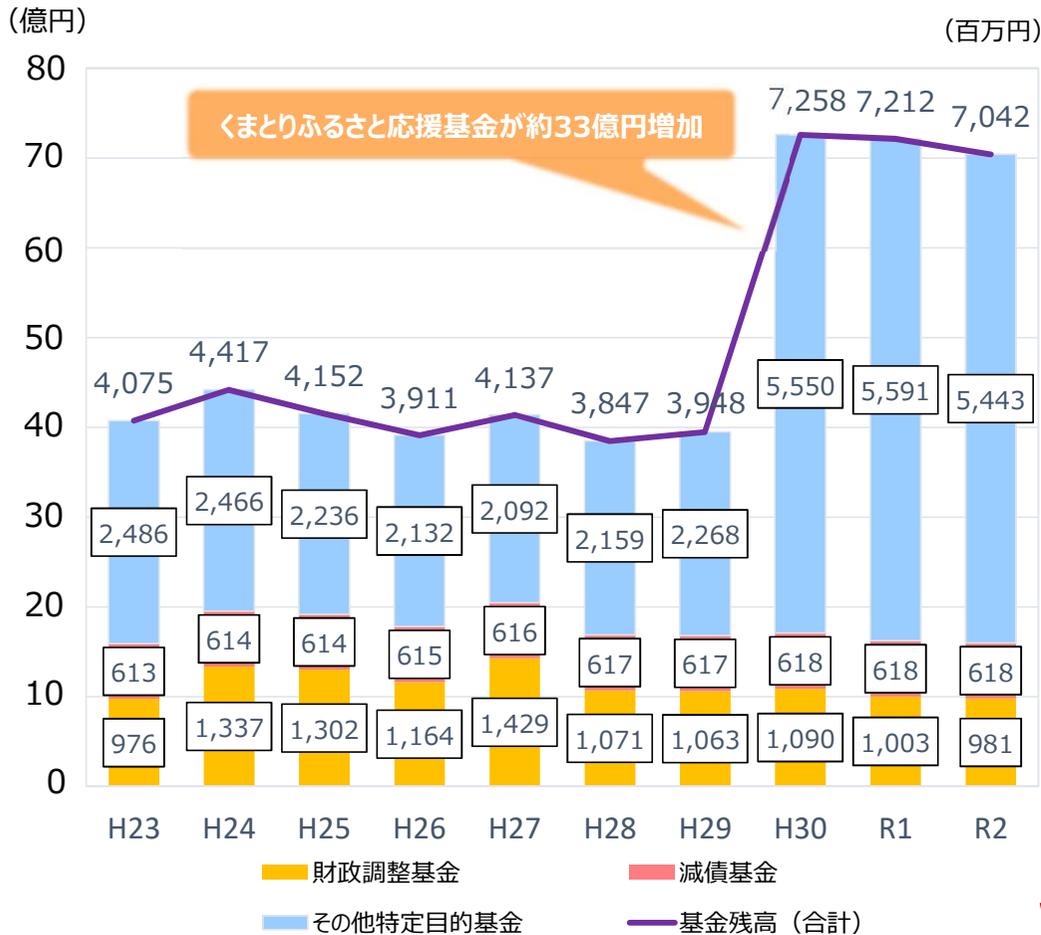


将来にわたって負担を分担するため、
その年度の収入と支出のバランスをとるためなんだね



⑧貯金（基金）は？

基金残高



財政調整基金

※令和2年度末時点の残高

財政調整基金 (S48.2.22設置) 9億8,122万1千円
年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うための基金

減債基金

減債基金 (H元.9.29設置) 6億1,802万1千円
町債の償還に備えて積立てる基金

その他特定目的基金

公共施設整備基金 (S48.2.22設置) 14億1,010万5千円
公共施設整備事業を円滑かつ効率的におこなうための基金

地域福祉基金 (H3.3.9設置) 3,497万5千円
高齢者等の保健福祉の増進を図るための基金

くまもりふるさと応援基金 (H22.10.14設置) 29億2,061万5千円
定住魅力のあるまちづくりを推進するための基金

産業活性化基金 (H26.4.1設置) 7,375万9千円
地域産業の活性化をはかるための基金

くまもり防災基金 (H31.3.29設置) 10億42万1千円
災害発生時に応急対策及び復旧をはかるための基金

NEW!

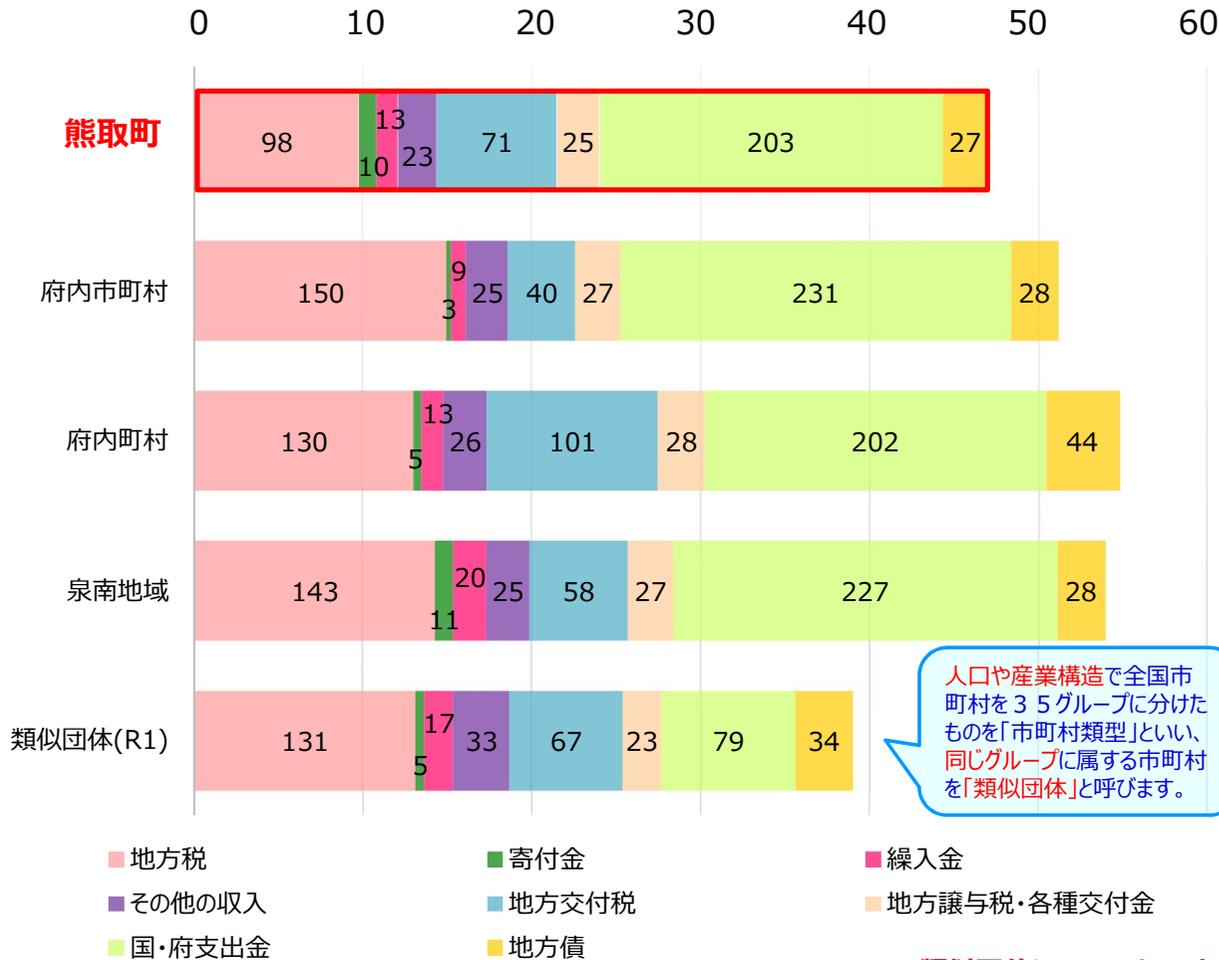


森林環境譲与税基金 (R3.3.31設置) 332万3千円
森林の整備やその促進に関する施策をおこなうための基金

⑨他団体との比較【歳入】

一人当たり歳入の比較 (R2)

(万円)

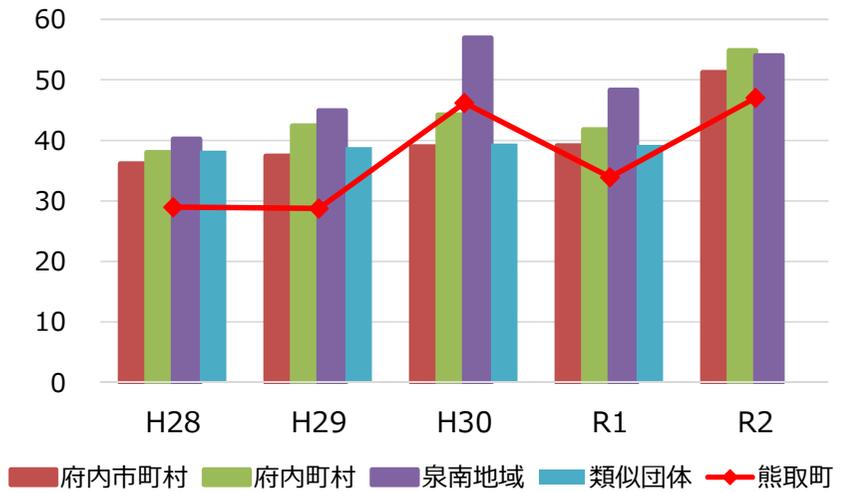


人口や産業構造で全国市町村を35グループに分けたものを「市町村類型」といい、同じグループに属する市町村を「類似団体」と呼びます。

※類似団体についてはR1まで

一人当たり歳入の推移 (全体)

(万円)



※類似団体についてはR1まで

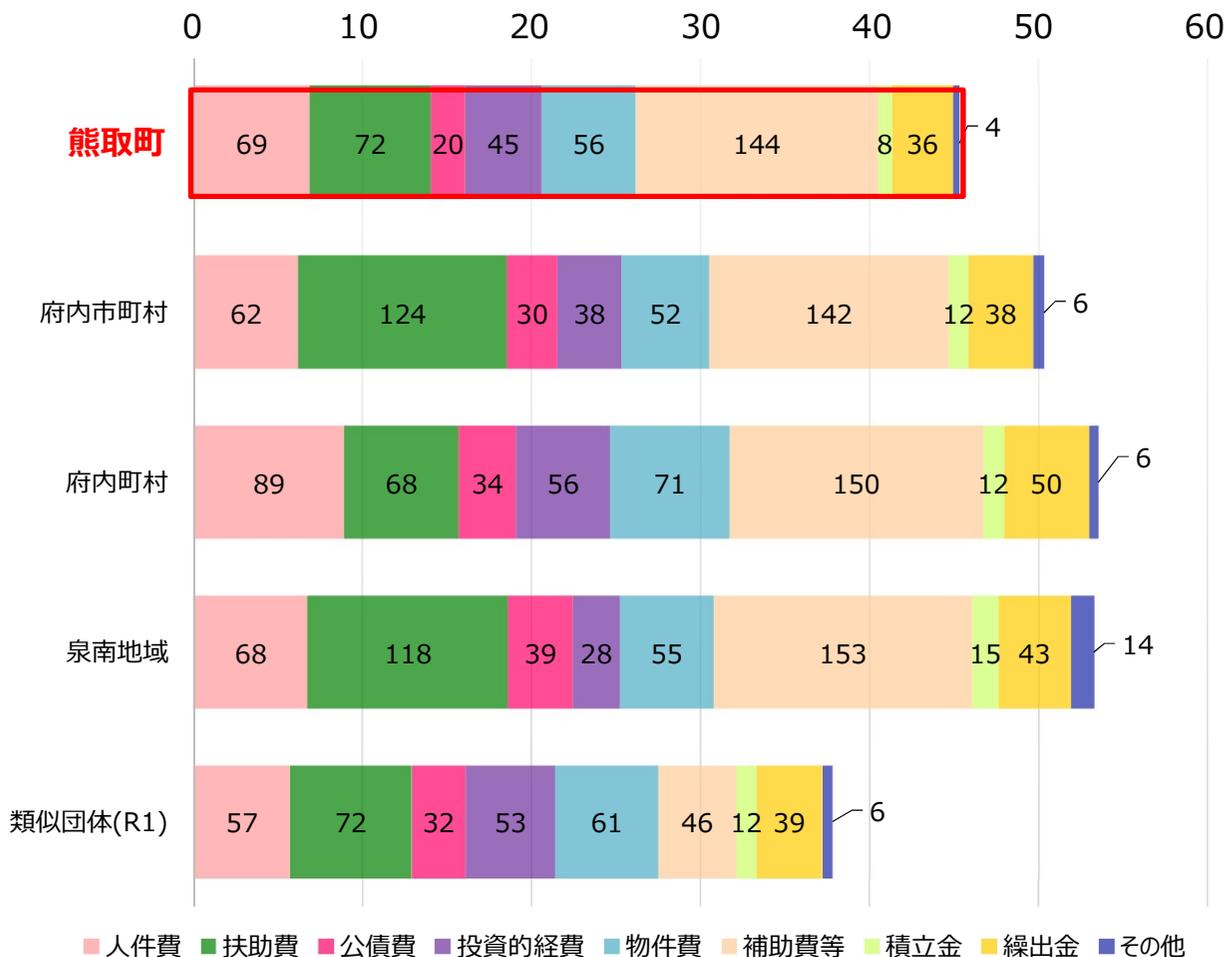


町税について、個人住民税は府内でも中ほどに位置していますが、固定資産税および法人住民税が比較的下位で位置し、全体として税基盤が弱いため、他団体を下回っています。また今後、生産年齢人口の更なる減少により、町税の大幅な増加は見込めない状況です。令和2年度については、新型コロナウイルス対策関連の国庫支出金が大幅に増加したことで、住民一人当たりの歳入が大きく増加しました。基金からの繰入れに依存することなく、町税などの自主財源の確保に努めていくことが大切です。

他団体との比較【歳出】

一人当たり歳出の比較(R2)

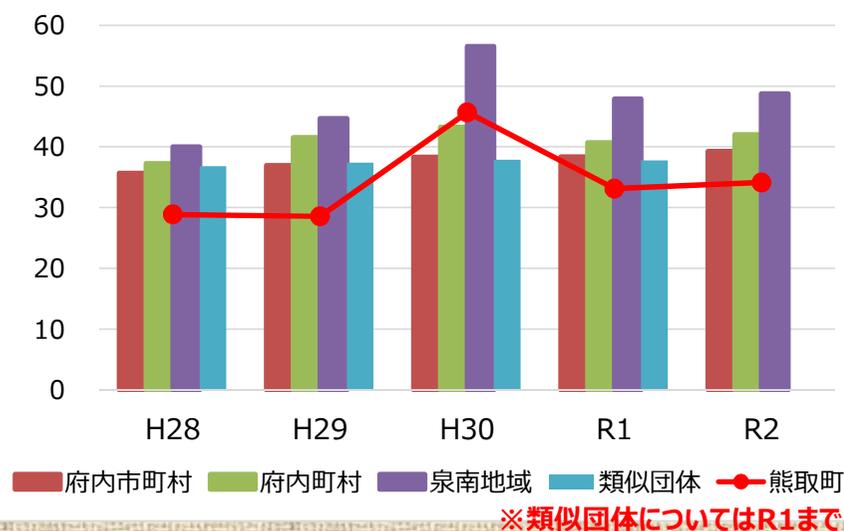
(万円)



※類似団体についてはR1まで

一人当たり歳出の推移 (全体)

(万円)



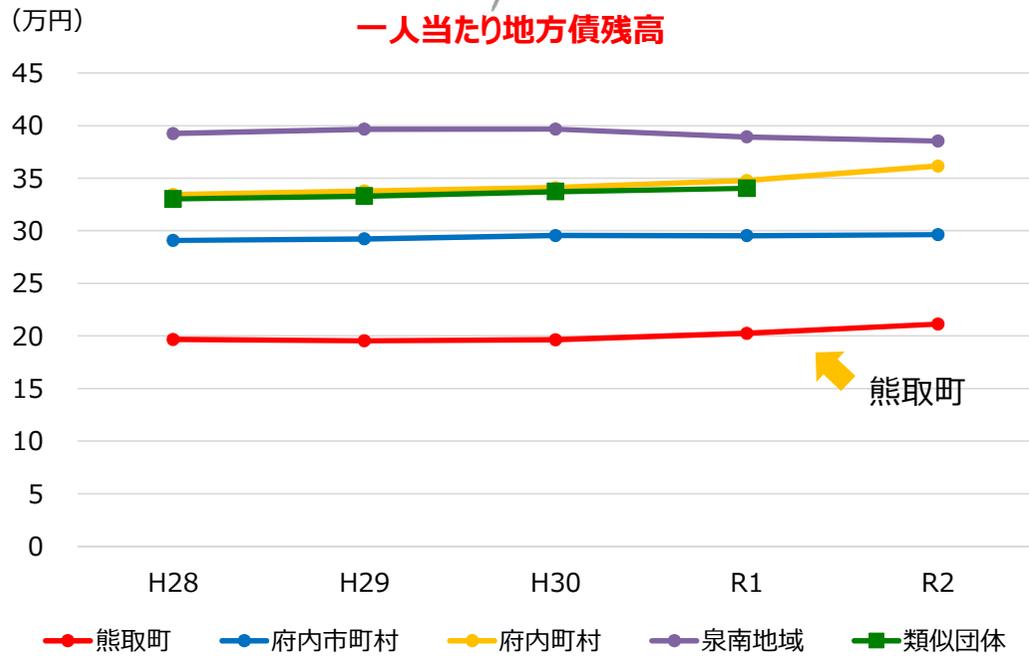
※類似団体についてはR1まで



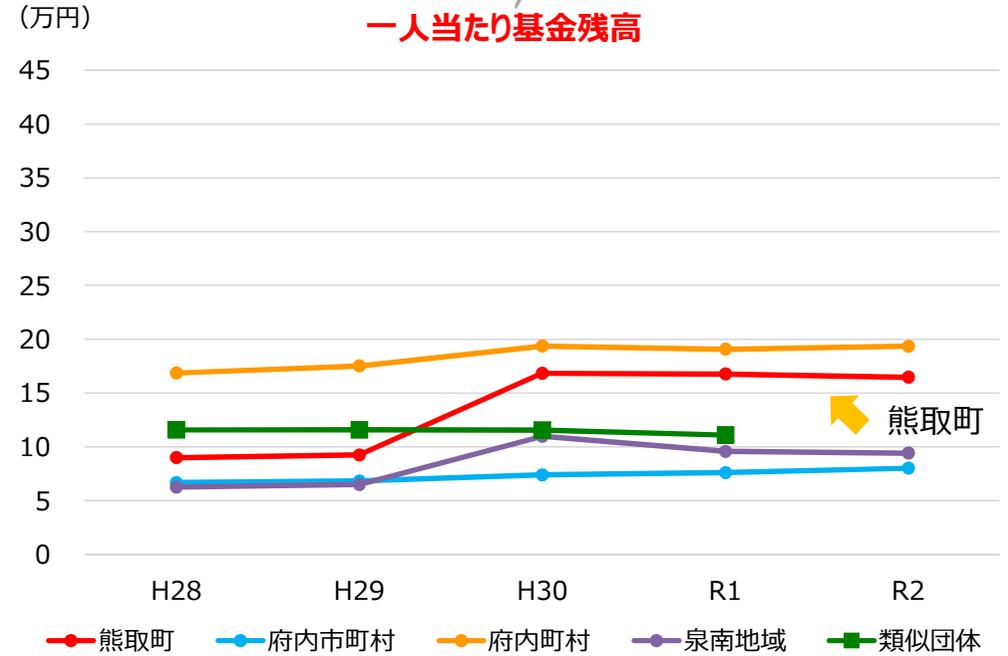
一人当たり歳出の比較では、歳入と同じく新型コロナウイルス対策関連経費の大幅な増加により、それに伴う補助費等が大きく増加しました。

また、熊取町では、ごみ処理、し尿処理などの事業を直営で行っており、その人件費及び施設の運営経費や維持補修費が類似団体と比較して高くなる傾向にあります。ここ数年は超過勤務の抑制など、行財政改革による経費削減の効果を生み出しており、類似団体と同程度となっています。

他団体との比較【地方債・基金】



※類似団体についてはR1まで



※類似団体についてはR1まで

地方債残高については、財政措置のあるものに限って借入れをおこなうなど借入れを抑制してきたことで、他団体と比較して、大幅に下回っている状況が続いています。

今後は公共施設の老朽化対策などにより、借入額の増加が見込まれますが、実施事業の規模などを十分に確認し、借入れの抑制に努め、将来世代に過度な負担を残さない財政運営をおこなっていきます。

Check!!



基金残高については、平成30年度における、ふるさと応援寄附金の積立により、府内市町村と比較して、大幅に上回っています。

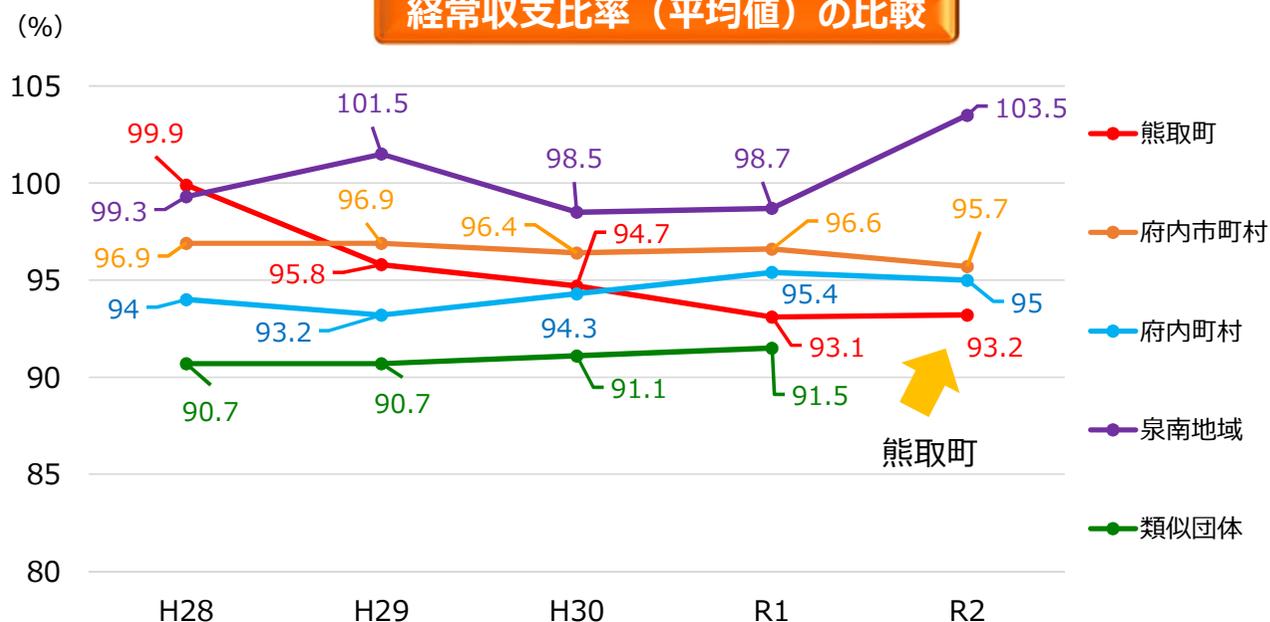
しかしながら、施設の老朽化による更新経費や少子高齢化に伴う扶助費などが今後も増加していくことが予測されるため、基金繰入れに頼ることなく、基金を減少させないように努めていくことが重要です。

Check!!



⑩財政状況は大丈夫？

経常収支比率（平均値）の比較



※類似団体についてはR1まで

経常収支比率ってなに？

地方公共団体の財政の弾力性を判断するための指標です。地方税、普通交付税などを中心とする**経常的に収入される一般財源**（経常一般財源）が人件費、扶助費、公債費等の毎年**経常的に支出される経費**（経常経費）にどのくらい充てられているか示しています。

この比率が**高い**ほど、道路整備などの**投資的**事業や新しい施策を実施する**余力がなくなる**ことを意味します。

令和2年度は前年度に比べて0.1ポイント悪化（93.2%）

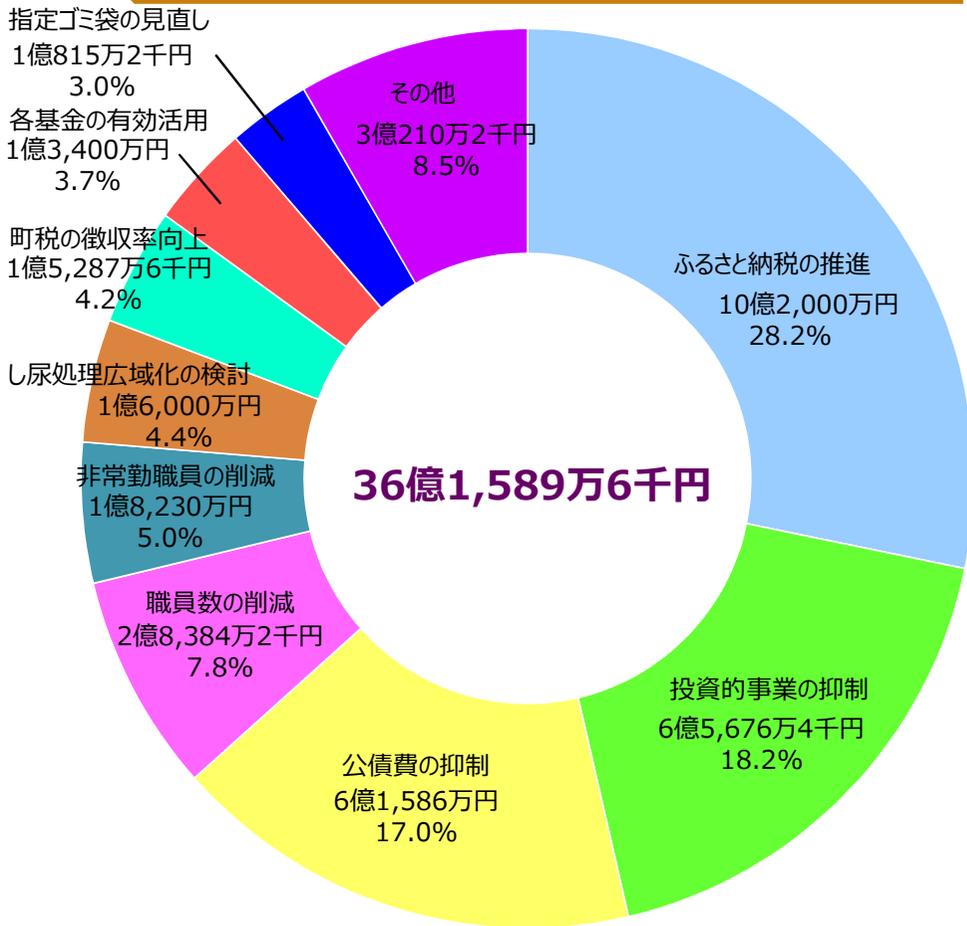
これは、分母となる地方消費税交付金や普通交付税などが増加した一方で、分子となる経常経費についても増加しており、今後も引き続き**経費削減**に努めていかなければなりません。

Point

- 令和2年度においては、投資的経費の増加などにより、財政調整基金から1億3,600万円の繰り入れに加えて、公共施設整備基金、くまとりふるさと応援基金から繰り入れることで収支バランスを確保することができました。
- 令和2年度末における町債残高は約92億円ありますが、そのうち元利償還金が後年度の地方交付税に算入される臨時財政対策債が約55億円となっています。また、基金残高も約70億円あることから、当面の財政運営については支障はないと考えています。
- しかしながら、近年は基金の繰入により実質収支の黒字を維持している状況であり、今後は少子高齢化や公共施設の老朽化の進行に伴い、歳入・歳出の両面で厳しい環境になっていくことが想定されることから、継続して行財政改革を進めていく必要があります。

⑪ 第3次行財政構造改革プラン【目標】

総目標効果額（平成30年度～令和4年度）



第3次行財政構造改革プランとは



町では、近年の少子高齢化の進行や人口減少社会に対応した、持続可能かつ、身の丈に合った行財政運営を実現していくことを目指し、「行政改革審議会」での慎重な審議や、その素案に対する住民のみなさんからの意見募集を経て、平成29年12月に「第3次行財政構造改革プラン」を、平成30年3月に「アクションプログラム」を策定しました。

今後は、「第3次行財政構造改革プラン」及び「アクションプログラム」の各改革項目の適切な進捗管理に努めるとともに、働き方改革などの社会経済状況や地方財政状況の変化を的確に捉え、取組の効果が不十分と判断される場合は、適切な取組を随時追加することにより、さらなる行財政改革の推進に取り組んでいきます。

※プラン及びアクションプログラムは、役場、図書館、町ホームページでご覧いただけます。

⇒「第3次行財政構造改革プラン」及び「アクションプログラム」HPはこちら **15**

第3次行財政構造改革プラン【実績】

■ 各改革項目の取り組みによる効果額 ※特定財源を除いた一般財源ベース

(単位：千円)

年 度	目標効果額 (A)	実績効果額 (B)	目標額と実績額との差額 (B) - (A)
令和2年度	911,961	613,622	△ 298,339

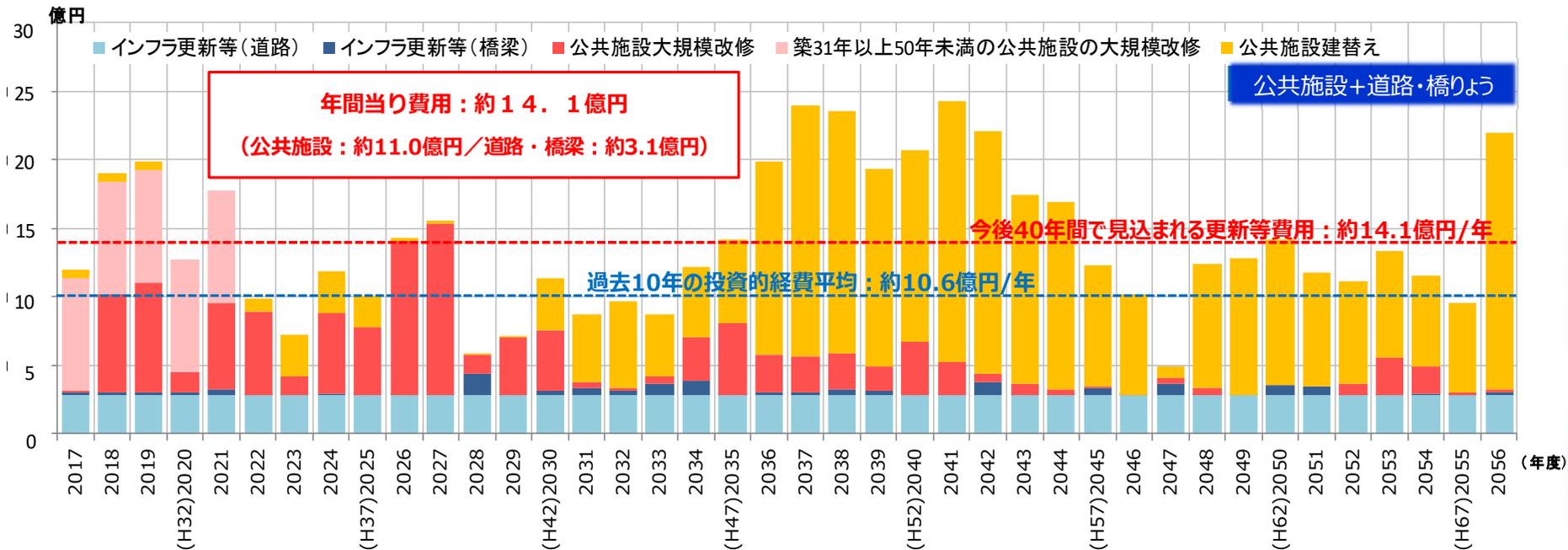
■ 実績効果額が500万円以上の取り組みとその効果額

(単位：千円)

改革項目	目標効果額	実績効果額
基幹系システムにおけるクラウドの導入等	5,580	5,591
投資的事業の抑制	295,708	186,563
資本費平準化債の増額発行【公営企業会計】	—	25,000
町税、保険料等の徴収率向上（町税）	30,575	82,582
ふるさと納税の推進	204,000	222,873
職員数の削減	54,585	72,780
公債費の抑制	168,842	163,402

令和2年度は、一定の効果額はあがっているものの、投資的事業の増加やコロナ禍の影響などにより目標には届きませんでした。

⑫ 公共施設等の老朽化対策



普通会計の対象となる公共施設と道路・橋梁について、今後も同規模に維持し続けるものとして、中長期的に必要な更新等の概算費用を算出すると、今後40年間の費用総額として最低でも約562億円、**年間あたりの費用**で見ると、**約14.1億円**の費用が見込まれます。これに対して、過去10年間の**投資的経費の平均**を見ると年間**約10.6億円**であり、投資的経費を全て更新等の費用に充当すると仮定した場合、公共施設等の更新等に必要な費用については、**約3.5億円超過**することとなります。

これまでの投資的経費の水準を上回る規模の財政支出が見込まれる中、人口動向や財政状況等を踏まえつつ、更新や改修等の対象とすべき施設の取捨選択の検討を進めるなど、「量」と「質」の両面から公共施設等の最適化を進めていく必要があります。

持続可能な財政運営に向けた対応

「熊取町公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の老朽化対策に取り組んでいるよ！



⇒「熊取町公共施設等総合管理計画」HPはこちら

⑬これからどうなっていくんだろう？【収支見通し①】

■収支見通し（10年間）

（単位：百万円）

区分		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
収入	町税	4,160	4,147	4,128	4,102	4,082	4,056	4,025	4,000	3,975	3,944
	地方交付税（臨財債含む）	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525	3,525
	繰入金（基金取崩し）	0	0	0	0	283	325	612	506	767	508
	その他	6,129	6,293	6,495	5,859	5,835	7,131	7,133	7,136	7,138	5,815
収入合計（A）		13,814	13,965	14,148	13,486	13,725	15,037	15,295	15,167	15,405	13,792
支出	人件費	2,573	2,380	2,616	2,380	2,595	2,380	2,573	2,380	2,552	2,380
	扶助費	3,144	3,245	3,371	3,371	3,371	3,371	3,371	3,371	3,371	3,371
	公債費	886	925	946	939	913	886	873	860	846	820
	投資的経費	1,193	1,193	1,193	872	872	2,367	2,367	2,367	2,367	872
	その他	5,708	5,827	5,963	5,890	5,974	6,033	6,111	6,189	6,269	6,349
支出合計（B）		13,504	13,570	14,089	13,452	13,725	15,037	15,295	15,167	15,405	13,792
収支（A）－（B）		310	395	59	34	0	0	0	0	0	0

※収支が均衡するよう、不足分については貯金を取崩し（繰入金）しています。

これからいろんな課題が重なって、貯金を崩さないと赤字になってしまうよ
収入の増加も見込めないし、貯金を大事に使わないといけないね！



これからどうなっていくんだろう？【収支見通し②（課題）】

■ 収支見通しから見える課題

① 人口減少により**町税が減少**する見込み

② **貯金の取崩し（繰入金）**なしでは数年後**赤字**になってしまう

③ 少子高齢化が進むことで**扶助費は高水準**のまま推移

④ 公共施設の老朽化対策などにより**投資的経費が増加**する見込み

■ 中長期的な取組方針

- 少子高齢化や人口減少を前提として、将来のまちづくりを見据えながら、恒常的な基金繰入れに依存しない、収支が均衡した財政構造を再構築する必要があります。
- 依存財源の多寡による影響を極力抑えた、自立的な財政運営を目指します。
- 事業の「選択と集中」を徹底するとともに、限られた財源を有効活用します。



14 課題と取り組み（まとめ）

■ 課 題

- 今後、歳入面では、生産年齢人口の減少や地価の下落等に伴い、町税の増加が見込めない状況です。
- 歳出面では、少子高齢化の進行に伴い、社会保障関連経費や医療費助成等の扶助費、各特別会計への繰出金等の増加が見込まれます。
- 公共施設の老朽化が進んでおり、南海トラフ地震への備えも必要なことから、大規模改修や建替えなどの課題を抱えています。

■ 取り組み

- 持続可能な行財政運営を実現するため、平成30年度から令和4年度まで「第3次行財政構造改革プラン」により、民間委託の推進、公共施設の統廃合や維持管理経費の削減、業務の効率化などに向けた取り組みをおこなっています。
- 大規模災害への迅速かつ機動的な対応を可能とするため、令和元年度に「くまとりふるさと応援基金」10億円を原資とする「くまとり防災基金」を創設しました。

■ 皆さまへ

このように熊取町は様々な課題を抱えています。そこで住民の皆様にも次のようにご協力をお願いします。

- 食品ロスの削減やリサイクルの活用などによる、ごみの削減にご協力をお願いします。
- 災害に備えて、家の安全対策や災害時にどのように行動したらよいのかの確認、水や食料などの備蓄を進めていただきますようお願いいたします。
- 町税や国民健康保険料等の納期内納付をお願いします。



ご協力よろしくお願いします！

